令和6年度学校評価における年度末の報告

進学指導部

点検・評価項目	自己評価 優れている＝3 適切　＝2 要改善　＝1	総括・意見等	特記事項
1. 有名大学への進学について 【具体的数値目標】 ・国公立大学5名 ・早慶上理3名 ・GMARCH20名 ・日東駒専30名		合格数 ・国公立大学　6名 ・早慶上理　1名 ・GMARCH　10名 ・日東駒専　31名	・国公立大学、日東駒専の合格者は特進コースを中心に数を伸ばすことができた。
・特進、進学コース	2	・放課後補習の実施 ・土曜日補習の回数増加 ・スタディサプリの活用 ・到達度テスト・外部模試の実施 ・検定試験受験の奨励 ・学習室の利用	来年度の取り組み ・情報（共通テスト）への取り組み 一般補習への組み入れを検討
・その他のコース		・例年通り放課後特別講座を実施し、推薦や総合型入試の対策を行った。 ・指定校推薦枠を有効活用し、94名が利用。	
2. 放課後特別講座について ・教科部門と検定部門の2本立ての実施	3	・全15講座実施。 ・延べ108名が受講した。 ・多くの生徒が進学を希望しており、それぞれの目標に向けて努力している。	講座によって受講者数にバラつき（3名～23名）がある。
・講座の改編		3年生小論文は個別担当制にて実施し、延べ62名が利用した。	小論文受講者数が昨年同様、多くの生徒が利用した。
・出欠席の管理を徹底する		講座担当者が毎回出席確認を行い、欠席者へは担任を通じて出席を呼び掛けている。	受験を控えた3年生は欠席が少ない傾向であるが、長期休み直後は欠席が増加している。
3. 選抜クラスについて ・スタディサポート、模擬試験の実施	2	・進研模試の受験者数は例年からの大幅な増加はなく、少数にとどまった。	・進研模試について、特進コースの生徒を除き、学校推薦型選抜(推薦入試)や総合型選抜(AO入試)で受験する生徒が多く、一般選抜による受験者数減少が影響していると思われる。
・スタディサプリの使用率向上		・自習課題や長期休暇中の課題を配信し、学習の補助として実施した。	

点検・評価項目	自己評価 優れている＝3 適切　＝2 要改善　＝1	総括・意見等	特記事項
4. 併設校入試について			
・令和6年度進学目標数 ・清和大 50名 ・清和短大 50名		・清和大学 併設校＋公募＋総合型選抜　計38名 ・清和大学短期大学部 併設校入試　44名	・清和大学、清和大学短期大学部ともに目標数に届かなかったが、昨年度よりの合格者数は増加した。
・併設校入試の利用呼びかけ	2	・年度当初から、併設校進学への呼びかけを行った。	・併設校担当次長を中心に、併設校との連携改善を図った。
・併設校との協力		・併設校担当者と密に連絡をとり、協力体制の強化を図った。	・毎月、清和大学との打ち合わせを実施した。
・連絡協議会を実施		・全担任に併設校の情報を周知した。	・音楽ホールに全担任を集め、併設校担当者を招致して実施。
5. その他			
・進学実績100%		・進学実績98．1%	・進学希望者を対象に算出
・進学後にも通用する学力をつける		・放課後特別講座において、学力の養成に努めている。	
・入試制度の理解と適切な進路指導の実践	2	・各大学の入試説明会に参加し、入試変更点等を把握し、クラス担任と情報共有を行った。	「進路アドバイザーのための基礎知識」を全担任に配布した。
・各学年担任への情報発信・情報共有		・「進学だより」発行により、情報発信を行った。	・今年度はClassiを利用して、「進学だより」を発行した。
・オープンキャンパスへの参加を促し、ミスマッチを防ぐ		・進路ガイダンスを通して、積極的にオープンキャンパスに参加するよう促した。	
・ガイダンスの充実、及び受験への意識を高める		・進路ガイダンスの実施 3年生2回 2年生2回 1年生2回	